

釣瓶井戸の水汲みを体験する児童ら



鏡石二小児童が浄水場見学 水の大切さを学びました

鏡石二小の4年生24人が10月27日(休)、鏡石浄水場の見学に訪れ、水の大切さについて理解を深めました。児童らは、町上下水道課職員に説明を受けながら浄水場内を見て回り、水がきれいになるまでの工程を学んだほか、塩素に反応する薬品を地下原水と浄水に入れ、それぞれの反応を調べる実験や、鏡水苑の釣瓶井戸と手押しポンプ井戸の水汲みを体験しました。

楽しく交流を深める参加者



町ゲートボール協会秋季大会 プレー通じ楽しく交流

町ゲートボール協会の秋季大会が11月7日(月)、町屋内ゲートボール場で開かれ、成田Aチームが優勝しました。大会は町内3チームによる総当たり戦形式で行われ、15人の参加者が日ごろの練習の成果を発揮しながら、楽しく交流を深めていました。
【大会結果】①成田A ②鏡石 ③成田B

鏡石駅伝・ロードレース大会 秋晴れの下 健脚競う

第16回鏡石駅伝・ロードレース大会が11月6日(日)、鳥見山陸上競技場をスタート・ゴールに行われ、約1,600人の参加者が秋晴れの下で健脚を競い合いました。今回は駅伝2部門、ロードレースは親子の部をはじめ18部門で行われ、ゲストランナーの山本竜也選手(小森コーポレーション陸上競技部)とともに、子どもから年配の方までがさわやかな汗を流していました。



山本選手とともにコースを駆ける小学生ら

沖縄県北谷町でキャンペーン 牧場のしずくや特産品PR

鏡石米づくり部会(和田和久会長)などが11月18日(金)から、沖縄県北谷町などで鏡石町産特別栽培米「牧場のしずく」と町特産品の販売促進キャンペーンを行いました。参加者は「北谷の産業まつり」での出展のほか、イオン琉球(株)と連携し、現地メディアでのPR活動などを行いました。「牧場のしずく」は来年3月まで沖縄県のイオングループ全48店舗で販売されます。



産業まつりで来場者に「牧場のしずく」をプレゼントする和田会長(左)

ごみ出しルールを守って きれいにごみステーションを利用しましょう

最近、ごみを決められた収集日、収集時間、収集場所以外に出したり、分別せずに出したりするケースが増えています。一人ひとりがごみ出しルールを守れないと、ごみステーションや粗大ごみ収集場所が不衛生になり、その地域の皆さんの迷惑になります。

ごみを出す際は、ご家庭に配布されている「ごみ分別収集カレンダー」をよく確認し、以下のごみ出し3原則を守りましょう。また、ごみの分別方法が分からない場合は、健康環境課までお問い合わせください。

ごみステーションは、利用者みんなのものです。協力してきれいに利用しましょう。

【ごみ出し3原則】

- ①収集日の午前6時～午前8時までに
- ②決められたごみ収集場所に
- ③きちんと分別して

【町で収集しないごみの一例】

タイヤ、自動車部品、テレビ、エアコン、衣類乾燥機、洗濯機、冷蔵冷凍庫、パソコン、建材やコンクリートブロック、事業所からのごみ、農業用建材(苗箱や農業用ビニールなど)
※この他にも回収しないものがあります。



きれいに管理されているごみステーションの例

●問い合わせ先 健康環境課 ☎62-2115

第7回町社会福祉大会

「地域共生社会」目指して

第7回町社会福祉大会が11月8日(火)、町公民館で行われ、関係者約50人が出席しました。元ラジオ福島アナウンサーの鏡田辰也さんの記念講演に続いて行われた式典では、社会福祉事業発展に功績のあった関係者に表彰状・感謝状が贈られたほか、誰もが安心して暮らすことのできる「地域共生社会」の実現を目指す大会宣言が採択されました。



社会福祉事業関係者が集った大会

町地域学校保健委員会

子どもの健康問題考える

町地域学校保健委員会が11月9日(水)、鏡石二小で開かれ、町内教育施設の職員や学校医らが子どもたちの健康問題について意見を交わしました。委員会には25人が出席し、今年実施したアンケートから町内の子ども6人に1人が肥満であるなどの健康実態を確認したほか、早寝・早起き・朝ごはん運動の推進のためにできることについて意見交換を行いました。



子どもの健康について意見交換した委員会